【様式】第2号の1~4一① 大学・短期大学・高等専門学校

(注) 様式第2号の1-①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

(注) 様式第2号の2-①

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・ 準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

(注) 様式第2号の4-①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

(申請書を作成する際には、1頁目を削除すること)

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第 2 号の 1 -②を用いること。

学校名	名寄市立大学
設置者名	名寄市

1.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

	教貝寺による技 者		り数					
			美	ミ務経!	倹のある	5		
				教員等	による			
			授	業科目	の単位	数		
学部名	学科名	夜間・通信の場合	全学共通科目	学部 等 共 科目	専門科目	合計	省でめ基単数	配置困難
保健福祉学部	栄養	夜 ・ 通信			50	50	13	
	看護	夜 ・ 通信			138	138	13	
	社会福祉	夜 ・ 通信			85	85	13	
	社会保育	夜 ・ 通信	_		76	76	13	
(備考)								

2.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校 法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いる こと。

学校名	名寄市立大学
設置者名	名寄市

1. 理事(役員)名簿の公表力	1. 埋事	(伐貝)	名 薄の公表力	1 社
-----------------	-------	------	---------	-----

2. 学外者である理事の一覧表

1 1 1 7 6 7 2 5 7 7	*		
常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
名寄商工会議所 会頭	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
名寄市立総合 病院長	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
北星信用金庫理事 長	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
名寄幼稚園 園長	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
北海道名寄高等学 校校長	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
岩手県立大学名誉 教授	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
北海道大学公共政 策大学院特任教授	2024. 4. 1~2026. 3. 31	2年	
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名寄市立大学(保健福祉学部)
設置者名	名寄市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法 や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

・授業計画の作成過程

学内設置の教務委員会において、次年度の記載内容の検証。記載注意事項等及 び作成(提出)スケジュールを担当教員に説明、周知。各学科教務委員が担当教 員の記載内容を確認する。

・公表に係る取組

4月に新入生並びに在学生に学内学務システム、HP で公表。

授業計画書の公表方法

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業計画(シラバス)において成績評価の方法を示し、履修規定に定める評価を受ける条件を満たした学生に対し、同規定に定める成績判定の方法により単位を認定する

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

平成24年度に成績評価値(GPA)に関する規程を定め、学生には各種ガイダンスにおいて説明。学生には各科目の評価に加え、GPAを全子機の成績通知に記載している。あわせて、該当学年の学科別の平均GPAの情報提供を行っている。

また、学内教務委員会において期別ごとにGPA分布の分析を行い、各学科に情報提供している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法 https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/seiseki
hantei.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学部の学位授与方針を学科毎に定める授業科目のうち128単位以上の卒業要件単位の修得と定め、さらに学科ごとに学位授与方針を定めている。

卒業認定は、各学科の会議において学生個々に卒業要件判定を実施し、教授会に報告後、学長が決定する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法 https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/di
ploma.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	名寄市立大学
設置者名	名寄市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

. ,			
単年度計画	(名称:	対象年度:)
公表方法:			
中長期計画	(名称:名寄市立大学の将来構想(ビジ	ョン 2026) 対象年度	: 2017~2026)
公表方法:l	https://www.nayoro.ac.jp/guide/future	plans/index.html	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.nayoro.ac.jp/guide/accreditation/jikotenken/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

https://www.nayoro.ac.jp/guide/accreditation/daigakuninnsyouhyouka/index.htm

- (3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要
- ①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名

教育研究上の目的

(公表方法: https://www.navoro.ac. ip/guide/target/index.html

(概要)

- ・高度な知識と技術及び高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支えうる専門職を育成する。
- ・地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来を ひらく。

卒業の認定に関する方針

(公表方法: https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/diploma.html

(概要)

・学部の学位授与方針を学科毎にさだめる 授業科目のうち 128 単位以上の卒業要件単位の修得と定め、さらに学科毎に学位授与方針を定めている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法: https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/curriculum.html)

(概要)

・教養教育科目を基礎に保健医療福祉連携教育科目、学部共通教育科目を含めた各学科の 専門基礎分野と専門分野に係る科目を幅広く学ぶとともに各学科において定める人材育 成方針のもとに教育課程を編成する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法:https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/addmission.html)

(概要)

・「保健・医療・福祉・保育関係の食に携わる職業人としての適性と自主自立の気概を有し、社会に貢献し、自己の目標実健に向けて努力する学生」を保健福祉学部の入学者の受入方針として、学科それぞれでアドミッション・ポリシーを定め公表している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/enkaku_kikou.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数(本務者)									
学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計		
_	2 人			_			2 人		
保健福祉	-	26 人	18 人	16 人	11 人	3 人	76 人		
	_	人	人	人	人	人	人		
b. 教員数(兼務者)									
学長・副学長 学長・副学長以外の教員 計									
各教員の有する学位	及び業績	公表方法:							
(教員データベー	ス等)	https://w	ww.nayoro.	ac.jp/res	earch/prof	fessorate/i	ndex.html		
c. FD(ファカルティ・ディベロップメント)の状況(任意記載事項)									

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに 進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

	ter r . r . r			Mat. t.t.				
a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員	入学者数	b/a	収容定員	在学生数	d/c	編入学	編入学
子部寺石	(a)	(b)		(c)	(d)		定員	者数
保健福祉	190 人	195 人	102.6%	760 人	771 人	101.4%	若干名	1人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	190 人	195 人	102.6%	760 人	771人	101.4%	若干名	1人
(備考)								

b. 卒業者数	• 修了者数、進学者	数、就職者数		
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健福祉	189 人	7 人	180 人	2 人
	(100%)	(3.7%)	(95. 2%)	(1.1%)
	人	人	人	人
	(100%)	(%)	(%)	(%)
合計	189 人	7 人	180 人	2 人
	(100%)	(3. 7%)	(95. 2%)	(1.1%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

 $\verb|https://www.nayoro.ac.jp/guide/information/student_info.html|$

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数(任意記載 事項)							
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他		
保健福祉	199 人	183 人	9 人	7 人	0 人		
	(100%)	(92. 0%)	(4. 5%)	(3.5%)	(0.0%)		
	人	人	人	人	人		
	(100%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
合計	199 人	183 人	9 人	7 人	0人		
	(100%)	(92. 0%)	(4. 5%)	(3.5%)	(0.0%)		
(備考)							

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

(概要)

授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準と年間授業計画をシラバスとして作成、公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学部名 学科名		卒業又は修了に必要 となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	栄養	128 単位	有・無	50 単位
伊加拉扎	看護	128 単位	有・無	50 単位
保健福祉	社会福祉	128 単位	有・無	50 単位
	社会保育	128 単位	有・無	50 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:https://www.nayoro.ac.jp/life_career/campus/index.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

社会福祉 社会福祉 社会保育 社会保育 160,000円 科 50,000円、社会福祉・社会福祉・社会福祉・社会保育 188,000円 188,000円 日本 1 日本	, 4, 4, 1 4 1 1 1		- 1- 1- 1	4 22.0.7	- > () () () ()	
看護 社会福祉 保健福祉 社会保育 535,800円 282,000円 160,000円 ・教育研究振興費: 栄養・看護・科・社会福祉・社会保育 (188,000円) (188,000円) ・実験実習活動費・栄養・科・	学部名	学科名		入学金	その他	備考(任意記載事項)
福祉・社会保育学科 40,000 円、看護学科 130,000 円	保健福祉	看護 社会福祉		,	255, 000 円 160, 000 円 160, 000 円	円 ・教育研究振興費:栄養・看護学 科 50,000 円、社会福祉・社会 保育学科 45,000 円 ・実験実習活動費:栄養・社会 福祉・社会保育学科 40,000

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

「学生支援のための基本方針」を定め、教員、教職員で構成する各種委員会が多大に連携を図りながら取り組んでいる。

また、本学独自の奨学金制度を整備し、意欲ある学生の学びを支援する。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

各学科において教員による就職進路委員会を設置し、学生個々の状況を踏まえたきめ細やかな支援のほか資格取得支援を行うとともに学部にキャリア支援センターを設置し、学生が自立し、主体的な進路選択・就業決定を行えるように組織的に支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

保健福祉センターを設置し、学生及び教職員の保健管理に関する業務を行うほか、学生 の心身の健康の保持に適切に対応するため、カウンセリング等の相談体制を整え支援を行っ ている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法: https://www.nayoro.ac.jp/research/index.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄(合計欄を含む。) について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F101210100116
学校名 (○○大学 等)	名寄市立大学
設置者名(学校法人○○学園等)	名寄市

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変 による者を除く)		118人	113人	122人
	第I区分	60人	61人	
内	第Ⅱ区分	29人	28人	
訳	第Ⅲ区分	29人	24人	
	第IV区分	人	人	
	十急変による 対象者(年間)			1人
合	計(年間)			123人
(備考)				
	lada) — la la lada	v = 1\ tota vv = 1\ tota vv =	the start of the s	701 W. http://www.

- ※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅲ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修 学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3 号、第4号に掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。
- 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数
- (1)偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより 認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年 攻科を含む。)、高等専門 む。)及び専門学校(修業 に限る。)	学校(認定専攻科を含
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了で きないことが確定	1人	人	人
修得単位数が標準単位数の 5割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学 修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して 該当	5人	人	人
計	6人	人	人
(備考)	ス担人に記載せること		

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

	右以外の大学等	短期大学 等専門学校 下のものは		こ限り、認 及び専門	定専攻科を含む。)、高 学校(修業年限が2年以
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の 停止を受けた者の数

<u> </u>	
3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	
Addition to the state of the st	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

・・・地行政化(これ)の一来	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年 攻科を含む。)、高等専門 む。)及び専門学校(修業 に限る。)	学校(認定専攻科を含
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の 6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	19人	人	人
出席率が8割以下その他学 修意欲が低い状況	0人	人	人
計	19人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

1	2	3	給付奨学生の等減免対象者	前年度の授 給付奨学生の 受対象者	· 前年度の授業給付奨学生の数等減免対象者及 前半	. 前年度の授 の 会 が の の の の そ の そ り き り き り り り り り り り り り り り り り り り	. 前年度の授 給付奨学生の 受対象者	. 前年度の授業給付奨学生の数等減免対象者及 後半	前年度の授業給付奨学生の数等減免対象者及 後半	1 前年度の授業び給付奨学生の数料等減免対象者及 後半	. 前年度の授業給付奨学生の数等減免対象者及 後半	1.前年度の授業び給付奨学生の数料等減免対象者及 後半	1 び給付奨学生の数料等減免対象者及 年間	給等減年 年 度 学 の 生 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	. 前年度の授給付奨学生の 会議会対象者	1 . 前年度の授業び給付奨学生の数料等減免対象者及	1 前年度の授業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	てり翌年的文句、もしたまれたのでは、日本ので、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で付 を で の奨 け 受 の 記生 た 定 の認 及 取 取定 取 取	行奨学生認定の 船に生気で作を受けた者及び 廃止の区分にをの認定の取消 果、学業成績
学校コード	学校名	設置者名	による者を除く)による者を除く)	受付 文字 · 文十息	I 区	第皿区分	第Ⅳ区分	よる者を除く)	爰対象者 (家	I 区	区	IV 区	よ 援 る 対	対象者(年間)	計 (年間)	備 考)		間 修業年限で卒業又は修了できないことが確定	間 修介 科単	間 出席率が5割以下その他学修
F 1 0 1 2 1 0 1 0 0 1 1 0 0 1 1 6	名寄市立大学	名寄市	1 1 8 人	60人	29人	29人	Į.	1 1 3 人	6 1 人	28人	2 4 人	,	1 2 2 人	1 人	1 2 3 人	0	0 人	1	0 人	0 人

付奨学生認定の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付奨学生認定の 脩(上):「仁孝子」(「 佐藤) 廃止の区分にを受けた者及び 栗、学業成績	てり翌年の取肖 希にようで作: 付奨学生認定の 廃止の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期ての語気の耳洋 果、学業成績が 修業年限2年以下・前での話気の耳洋	ての整生認定的、組織に対しておいての認定の取消 乗り 学業成績が 修業年限2年以下・前ての認定の取消 乗り 学業成績が 修業年限2年以下・前	付奨学生認定の 廃止の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期ての認定の取消 無(学業で編)修業年限2年以下・前ての認定の取消 無(学業で編)	付奨学生認定の『・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付奨学生認定の 廃止の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期ての認定の取消 無く学気に績が 修業年限2年以下・前ての認定の取消 無く デくび	付奨学生認定の 廃止の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期での認定の取消 果、学業成績が 修業年限2年以下・後	付奨学生認定の 糸に上近され:を受けた者及び 廃止の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期での認定の取消 果(学業で)(参加を実施)を表していいます。	付奨学生認定の ౣౣ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行奨学生認定の 新正正の名前: では、	ての認定の取削、新の出版の新に対しての認定の取削、新の出版の区分に該 期を受けた者及び 廃止の区分に該 期で おいまい 果、学業成績が 修業年限2年以下・後	てが認定的政尚 肴もきなで作って的認定的政尚 肴もきなで作います きゅうしいさい きょうきんきょう りょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょう かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しんりょう かんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんりょう しんりん しんりょう しんりょう しんりょう しんりょう しんりょう しんりん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんし	しての認定の取消 私に 半光で食む て災害、傷病その他や給付奨学生認定の 廃止の区分に該 て災害、傷病その他やしを受けた者及び 廃止の区分に該 て災害、傷病その他やしての認定の 乗、学業成績が (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ての認定の取肖、船(キュで糸)、て、当該学業或績が箸付奨学生認定の 廃止の区分に該 て災害、傷病その他やを受けた者及び 廃止の区分に該 て不良であることにつての認定の取消 果、学業成績が く不らご診学別船か著	災害、傷病その他や不良であることにつ、当該学業成績が著	付奨学生認定の る。)の処分を受けた者及び 間のものに限っていまる。	ての認定の政治 は3月以上の大学学に認定の は3月以上の大学学に表なび 間のものに限のものに限	付奨学生認定の る。この処分を受けた者及び 間のものに限ての認定の取消 はる月以上の	付奨学生認定の る。一の処分を受けた者及び 間のものに限ての認定の取消 は3月以上の	での効力の停止を けいとによび給付奨学生認 ほる。)又()
「警告」の区分に連続して該当	計	半 修業年限で卒業又は修了できないことが確定	科単	況率が5割以下その他学修	半 「警告」の区分に連続して該当	书計	半 修業年限で卒業又は修了できないことが確定	修科目の単位時間数が標準時間数の5割以半 (単位制によらない専門学校にあっては、履	状況 おりまり おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる はいい はいい はい は	該当	· 半 計	(備考)	右 以	しい 修業年限2年以下・前半期	む 修業年限2年以下・後半期し	退学	3月以上の停学	年間計	(備考)	3月未満の停学
5 人	6人	,	人	人	人	X	人	人	人	A	₹.	0	0 人	0人	0 人	0 人	0人	0人	0	0 人

43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 き定及で定及で定及で定けき定けき定ける定ける定ける定ける定ける定ける定ける定ける定ける定ける定け。 : 効給」、効給」、効給」、結学注結学注結学注結学注結学注結学注結学注結学注結学注結學注結學注 た告限た告限た告限 このるこのるこのる と処。と処。と処。 に分しに分しに分し よを又よを又よを又 り受はり受はり受は 認け訓認け訓認け訓 期修 期修 期修 期修 期修 期修 期修 期修 期修 右 右 右 以 以 以 以 外 外 外 外 年 年 年 年 年 年 の の の の 限 限 限 限 限 限 限 限 限 大学 大学 大学等· 2 2 2 2 2 2 2 2 2 大学 等・ 年 年 年 年 年 年 年 年 年 · 以 下 · 以 下 等 等 以 以 以 以 以 以 以 下 下 下 下 下 下 下 年 年 年 年 間 間 間 間 前 前 前 前 後 後 後 後 後 * * * * * 訓 年 修一 G 出 計 修八 G 出 計 修一 G 出 計 備 科単 告 科単: 科単: 備 間 Ρ 席 Ρ 席 Р 席 A 等 A 等 計 考 目位. A 等 考 率 目位. 率 目位. 率 が が が の制 の制・ の制・ 単に が 8 単に が 8 単に が 8 位よ 割以 位よ 下 割以 位よ 下 下 割 時ら . 位 時ら · 位 時ら 位 以 間な: 4 下 間な: 4 下 間な 4 下 ・その 数い. 数い. 分 そ 数い. そ 分 分 が専 の が専 の の の が専・ の 標門 他 標門 他 標門 他 準学 学 準学 学 準学 学 . 修 時校 · 修 · 修 時 校 時校 意 間に 間に 意 間に 意 数あ 欲 欲 数あ 数あ 欲 が が が のっ のっ のっ 6 T 低 6 T 低 6 て 低 割は i 割は 割は い L١ 状 状 状 以 以 以 履 履 履 況 況 況 0 0 0 0 0 人 0 人 人 人 人 人 人 人 9 9 人 人